

## 第1 監査の概要

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社 ディア四日市  
商工農水部商業勤労課（出資に関する事務の所管所属）
- 3 事前調査期間 平成23年12月13日から平成24年1月11日まで
- 4 監査期間 平成24年1月12日
- 5 監査対象年度 平成22年度
- 6 監査対象事項 出納その他の事務
- 7 監査方法 関係帳票の整備、記帳及び証拠書類の保存は適切か、会計経理及び財産管理等は適正に行われているか、財務諸表は適正に表示されているかに重点をおいて、関係帳票、証拠書類等の抽出調査及び監査調書に基づく質問等により行った。  
また、所管所属に対して、出資団体の事業運営を十分把握し、指導的役割を果たしているかに重点をおいて、監査調書に基づく質問等により行った。
- 8 監査委員の除斥 監査委員のうち、廣田正文委員については、地方自治法第199条の2の規定により除斥した。

## 第2 監査対象の概要

- 1 設立年月日 平成5年3月1日（くすの木パーキング開業は平成9年4月）
- 2 資本金等（平成23年3月末日現在）
  - （1）発行可能株式総数 36,000株
  - （2）発行済株式の総数 32,163株
  - （3）払込資本金 100,000千円
  - （4）四日市市の出資 31,100千円（出資割合 31.1%）
- 3 役員数及び従業員数（平成23年11月末日現在）
  - （1）取締役 15名  
代表取締役社長 増原 一眞  
代表取締役副社長 鈴木 主計  
その他取締役 四日市市商工農水部長、四日市市都市整備部長ほか11名
  - （2）監査役 2名（四日市市会計管理者ほか1名）
  - （3）相談役 1名（役員外）
  - （4）従業員 4名（嘱託職員3名を含み、パート職員は含まない。）

#### 4 事業内容（定款第2条による）

- (1) 駐車場の経営及び管理運営の受託業務
- (2) 中心市街地活性化を支援する調査研究事業及びイベントの企画運営事業
- (3) 商店街活性化を支援するための展示場及び多目的ホールなどコミュニティ施設の運営
- (4) 広告宣伝及び観光案内事業
- (5) 損害保険代理店業
- (6) 前各号に付帯する一切の業務

#### 5 決算の状況（経営成績及び財務状況等）

第18期(平成21年度)、第19期(平成22年度)の経営成績を示す損益計算書、財務状況を示す貸借対照表は次の各表のとおりである。なお、各表は、当法人作成の「事業報告及び計算書類」から転記したものである。

##### (1) 比較損益計算書

(単位：円)

科 目	第19期 (平成22年度)	第18期 (平成21年度)	対前年度増減
営業収益	157,206,573	155,086,236	2,120,337
駐車場収入	144,165,573	141,461,236	2,704,337
受託事業収入	13,041,000	13,625,000	584,000
営業費用	127,049,262	127,504,759	455,497
役員報酬	4,200,000	5,040,000	840,000
給料手当	8,301,000	6,109,400	2,191,600
賞与	968,220	704,160	264,060
賞与引当金繰入額	608,819	352,080	256,739
通勤費	302,102	270,244	31,858
法定福利費	1,004,214	965,105	39,109
福利厚生費	136,316	143,967	7,651
減価償却費	49,511,914	49,263,014	248,900
業務委託費	28,549,713	29,315,615	765,902
水道光熱費	6,134,315	6,364,761	230,446
広告宣伝費	514,825	639,920	125,095
交際接待費	64,440	34,440	30,000
消耗品費	2,061,056	2,385,438	324,382
事務用品費	437,317	626,469	189,152
保険料	755,230	1,182,330	427,100
修繕費	2,559,693	3,079,207	519,514
租税公課	18,089,795	18,172,360	82,565
旅費交通費	207,578	146,080	61,498
会議費	197,739	180,550	17,189

通信費	405,609	407,517	1,908
支払手数料	921,451	953,276	31,825
諸会費	93,668	88,906	4,762
寄付金	30,000	30,000	0
新聞図書費	44,868	44,868	0
賃貸料	178,800	178,800	0
諸雑費	770,580	826,252	55,672
営業利益	30,157,311	27,581,477	2,575,834
営業外収益	32,879	45,466	12,587
受取利息	21,479	31,856	10,377
雑収入	11,400	13,610	2,210
営業外費用	375,000	375,000	0
支払利息	375,000	375,000	0
経常利益	29,815,190	27,251,943	2,563,247
税引前当期純利益	29,815,190	27,251,943	2,563,247
法人税、住民税及び事業税	950,000	950,000	0
当期純利益	28,865,190	26,301,943	2,563,247

( 2 ) 比較貸借対照表

( 単位 : 円 )

科 目	第 19 期 (平成 22 年度)	第 18 期 (平成 21 年度)	対前年度増減
流動資産	78,688,610	80,361,937	1,673,327
現金及び預金	72,755,254	71,934,016	821,238
営業未収入金	3,450,904	6,389,699	2,938,795
貯蔵品	2,212,986	2,031,030	181,956
立替金	265,188	0	265,188
未収入金	4,278	7,192	2,914
固定資産	1,196,225,688	1,244,493,102	48,267,414
有形固定資産	1,184,388,127	1,233,651,141	49,263,014
建物	1,174,467,166	1,220,893,722	46,426,556
構築物	297,600	338,000	40,400
機械及び装置	9,502,538	12,238,115	2,735,577
工具器具備品	120,823	181,304	60,481
無形固定資産	1,007,486	11,886	995,600
電話加入権	11,886	11,886	0
ソフトウェア	995,600	0	995,600
投資その他の資産	10,830,075	10,830,075	0
出資金	10,000	10,000	0

差入保証金	10,820,075	10,820,075	0
資産合計	1,274,914,298	1,324,855,039	49,940,741
流動負債	94,612,705	95,418,636	805,931
1年以内返済予定長期借入金	78,000,000	78,000,000	0
未払金	3,736,813	4,712,589	975,776
未払法人税等	950,000	950,000	0
未払消費税等	1,521,400	1,414,600	106,800
未払費用	1,483,591	1,137,800	345,791
前受金	52,500	52,500	0
預り金	8,259,582	8,799,067	539,485
賞与引当金	608,819	352,080	256,739
固定負債	1,295,648,000	1,373,648,000	78,000,000
長期借入金	1,295,648,000	1,373,648,000	78,000,000
負債合計	1,390,260,705	1,469,066,636	78,805,931
株主資本	115,346,407	144,211,597	28,865,190
資本金	100,000,000	100,000,000	0
利益剰余金	215,346,407	244,211,597	28,865,190
その他利益剰余金	215,346,407	244,211,597	28,865,190
繰越利益剰余金	215,346,407	244,211,597	28,865,190
純資産合計	115,346,407	144,211,597	28,865,190
負債・純資産合計	1,274,914,298	1,324,855,039	49,940,741

## 6 くすの木パーキングの利用状況

当駐車場の過去5か年における利用状況については、次表のとおりである。なお、営業時間について、平成20年7月までは19時間営業、同年8月からは24時間営業となっている。

年 度	年間利用車両台数(台)			年間総駐車時間 (時間)	修正 回転率 (A) (時間/日)
	中央通り	国道1号線	計		
平成18年度	248,256	85,234	333,490	849,557.8	4.59
平成19年度	243,124	100,067	343,191	956,470.7	5.13
平成20年度	247,680	101,329	349,009	1,154,793.4	6.22
平成21年度	265,493	100,737	366,230	1,289,508.4	6.94
平成22年度	265,089	106,724	371,813	1,379,021.4	7.42

収容可能台数 509台(中央通り:306台、国道1号:203台)

修正回転率(A) 駐車スペース1台についての1日あたりの平均駐車時間を示す。

修正回転率 = (年間総駐車時間) ÷ (収容可能台数(509台) × 年間営業日数)

当駐車場の利用形態としては、30分単位の時間貸のほか、月極の定期貸があり、現在では定期貸の枠300台程度が契約されている。

そこで、今後の駐車料金収入の増減に影響を与える時間貸の推移を見るため、過去5か年の定期貸を除いた利用状況を次表にまとめた。

年 度	年間利用車両台数(台)			年間総駐車時間 (時間)	修 正 回 転 率 ( B ) (時間/日)
	中央通り	国道1号線	計		
平成18年度	230,069	74,538	304,607	583,652.3	3.14
平成19年度	223,227	79,390	302,667	592,002.8	3.18
平成20年度	217,689	73,975	291,664	589,357.7	3.17
平成21年度	216,924	69,996	286,920	595,209.2	3.20
平成22年度	211,469	70,204	281,673	579,466.9	3.11

### 第3 監査の結果

「株式会社 ディア四日市」の出納及びその他関連する事務並びに所管所属の当法人に対する指導状況等についての監査の結果、次の指摘事項及び意見のとおり、注意、是正又は改善を要するものが見受けられた。今後の事務執行にあたっては、これらに十分留意するとともに、是正、改善等を要するものについては、その措置を講じるよう要望する。

なお、是正、改善等の措置を講じたときは、遅滞なく報告されたい。

#### 1 指摘事項

##### 【株式会社 ディア四日市】

##### (1) 小口現金について

日々の支払のために手許に現金を保管しているが、経理規程に小口現金の定めがない。また、手許現金が支払実態を大きく超えていることから、必要額を精査したうえで限度額を規定し、適切な事務処理を行うこと。 【是正事項】

##### (2) 金券等の管理について

切手、葉書、収入印紙の取扱いについて、職員が少人数であることから、払出の確認が簡略化されているので、複数の職員で払出の事実を確認するシステムをつくるなど、紛失、事故等の防止を図ること。 【是正事項】

##### (3) 物品管理について

固定資産、貯蔵品、長期使用の消耗品などの棚卸、在庫確認を1人で実施しているため、複数で実施したり、上司による抜き取り検査を実施するなど、内部牽制を働かせるとともに、検

査結果を記録として残すこと。

【是正事項】

(4) 交際接待費について

病気見舞、香典、供花料の支出金額の根拠が不明確であるので、交際費支出基準などを明文化すること。

【是正事項】

(5) 修繕計画の策定と修繕引当金の計上について

当駐車場を開設して15年が経過しており、施設・設備の維持管理については計画的に行う必要がある。中長期の修繕計画を策定したうえで、修繕引当金を適切に計上するとともに、経理規程を改正すること。

【是正事項】

(6) くすの木パーキング供用約款の掲示について

くすの木パーキング管理規程第34条に基づき、供用約款の掲示を行い、利用者が閲覧できるようにすること。

【注意事項】

(7) 通勤手当支給額認定について

通勤手当支給に際しては、賃金規程に基づいた手続きにより、適正な認定を行うこと。

【注意事項】

【商工農水部商業勤労課】

(1) 当法人の経営に対する指導、監督について

当法人は、平成17年度に「固定資産の減損に係る会計基準」を適用し約16.5億円の減損損失を計上するとともに、約15億円の減資により累積損失を3億円強とし、営業損失を発生し続ける体質からの脱却がなされたものの、今なお1億円強の債務超過の状態となっているが、所管所属においてその経緯の把握が十分ではなかった。当法人の経営健全化が最大の課題であるので、所管所属においては担当職員が異動しても経緯が不明にならないように引継ぎを行うこと。

【注意事項】

(2) 出資金額について

当法人は、平成18年度の減資の際に持株比率を不変としたため、決算書類で本市の出資金額を3,109万円(万円止めで表現。計算式： $500,000 \text{ 千円} \times 100,000 \text{ 千円} / 1,608,150 \text{ 千円} = 31,091,627 \text{ 円}$ )としてしている。

一方、本市は、当法人の資本金を持株比率(31.1%)によって按分した31,100千円(千円止めで表現)を公有財産として計上している。しかし、持株比率を小数点以下第何位まで計算するかによって出資金額に差が生じることになるので、1株当たりの評価額をいずれの金額とするか明確化し、適正な出資金額を計上すること。

【是正事項】

計算式中の数値の説明

500,000千円：本市の当初出資金額の合計  
100,000千円：減資後の当法人の資本金  
1,608,150千円：減資直前の当法人の資本金

## 2 意見

### 【株式会社 ディア四日市】

#### (1) 経営改善について

中小企業高度化資金の一部償還猶予の期限が到来し、平成24年度から償還が開始されるが、現在の財務状況では大きな負担となる。大幅な収入増が見込めないだけでなく、国道1号線地下駐車場の管理運営の民間事業者への移行、旧ジャスコA館跡地の開発の遅れ、近隣駐車場の低料金化など、事業環境は非常に厳しいものとなっている。

さらなる経費削減や駐車料金の見直しなど当駐車場の一層の利用促進に関する具体的な実行計画を策定し、確実な経営改善に取り組むこと。また、街づくり会社本来の事業を展開するとともに、駐車場以外にも積極的な収入財源の確保に向けた経営の抜本的な改善を行うこと。

【改善事項】

また、平成22年度3月期現在2億円を超える累積損失についても、具体的な年次計画を策定し、確実な解消を図ること。

【要望事項】

#### (2) 単年度黒字決算について

当期における損益状況は、営業収益が157,206千円と前年度に比べ2,120千円(1.4%)の増収となり、経常利益は29,815千円、当期純利益は28,865千円と、単年度では黒字決算となっている。しかし、この背景には、借入金(中小企業高度化資金)が無利子であることや利益配当を行っていないことがある。今後は、より積極的に経営改善を行い、自立経営に向けた努力を行うこと。

【要望事項】

#### (3) 利用者の拡充について

当駐車場の利用状況は、全体的には向上しているものの、時間貸利用における平成22年度実績は低下している。当駐車場を取り巻く近年の駐車場環境の変化に対応し、時間貸利用の増加を図るためには、様々な料金設定によるシミュレーションを行うとともに、商店街や利用企業との提携による利用者の誘引策としてポイント制の導入などを取り入れるなど、繰り返し選択される駐車場を目指すこと。

【要望事項】

#### (4) 役員構成等の見直しについて

推薦団体内での充て職により選任された役員(取締役、監査役)が、その地位、役職を離れた以降も役員として活動することは、法人の経営方針や事業計画、予算決算等の重要事項を審議・承認し、日常の経営活動を統治・監視する機関である取締役会のガバナンス機能を著しく弱めることになりかねない。経営を執行する管理者はじめ社員の適切な活動により、事業が改善・改革が図られているか厳しく指導・監視できるよう、取締役会等の構成と役員の選任方法について改善を行うこと。

【改善事項】

【商工農水部商業勤労課】

( 1 ) 当法人の経営に対する指導監督について

当駐車場の利用者数については、来街者数に左右されることが明白である。現在、本市が策定中の中心市街地活性化基本計画に具体的に位置づけ、増収による経営の安定化を促すとともに、街づくり会社として発足させた当法人の果たす役割について明確にし、駐車場管理以外の事業について取り組めるよう、適時適切な指導監督を実施すること。 【改善事項】

( 2 ) 国道 1 号線地下駐車場について

現在、国道 1 号線部分については、財団法人駐車場整備推進機構から委託を受け、中央通り部分と一体的に管理運営しているが、同機構は近々解散が予定されており、今後の新たな団体からの受託に向け、受託時の条件がより優位となるよう経営のあり方の抜本的改善への指導を行うこと。 【要望事項】